第180回 長崎大学FD実施報告書(平成31年3月6日提出)

- 1. 題 目:初習外国語教育のアクティブ・ラーニングをともなった改善
- 2. 日 時:平成31年3月2日(土)13:00~15:30
- 3. 場 所: 教養教育棟 C-16
- 4. 主 催:初習外国語小委員会、言語教育研究センター
- 5. 对 象:教養教育外国語科目(初習外国語)担当教員
- 6. 長崎大学FDに関する申合せ第2第1項への該当について【複数選択可】 (該当するものに○を記入すること)
 - 「](1) 教員の教育活動に関するもの
 - [](2) カリキュラムの改善に関するもの
 - 「](3) 教育の組織的改善に関するもの
 - [](4) 入学者選抜方法の改善に関するもの
 - [](5) その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの
- 7. 今回のFDの趣旨・意義(6. に関連した形で記述すること)

教育機器を効果的に活用した教材開発を推進するため、iPad でも利用できる iBook Author を用いて、可搬性の高いデジタル教材の作成方法について実践を交えながら学ぶ。デジタル教材のプラットフォームを共通化することで、各語学の教材開発と共有化を進める基盤構築のための機会とする。また、この種の教材開発とアクティブ・ラーニングのさらなる実践方法について考える。

後半では、各言語に分かれ、今後の初習外国語教育の改変について報告し、各言語に適した授業内容の改善と授業数減に対応した学生の自宅で学習を促す措置及び留学希望の学生達への語学指導などについて話し合う。

- 8. プログラム構成 [題目・担当講師] (当日使用した資料等を添付すること)
 - 13:00~13:15 「今後の初習外国語の基本方針について」

西原俊明言語教育研究センター長

13:15~14:15 iPad を使った教材作成の実践

奥田阿子助教 (言語教育研究センター)

14:15~14:30 休憩

14:30~15:30 言語別分科会

9. 参加者:14名

(内訳)

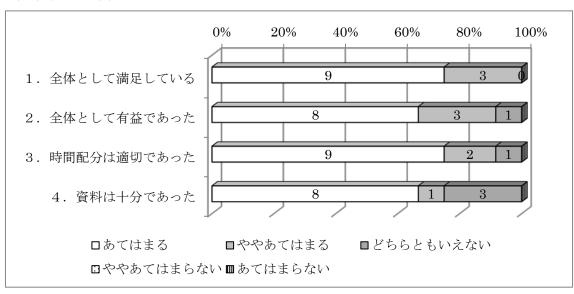
所 属	人数
言語教育研究センター	2
多文化社会学部	2
経済学部	1
学外非常勤講師	9
計	14

※ 別紙に参加者名簿を添付してください。

10. 実施したFDの成果等

(1) 参加者からの評価 (アンケートの集計結果を記述する)

(回答者:12名)



今回のFDの運営に関して、何か感想やご意見がありましたらご記入ください。 (アンケートからそのまま抜粋)

- ・習ったことをすぐに実践でき、有益でしたし、楽しかったです。
- ・ iBook Author での教材作成には様々な可能性があると感じたが、Mac ユーザーではないので、Mac 以外の機種でどう対応すればよいのかも知りたいと思った。
- ・ パソコンが Windows なので、iBook Author が使えないのが残念です。
- ・ iBook Author に関しては、非常に参考になりました。iOS 環境にいない学生に

どう対応すればいいのかが難しいですね。

- ・ LACS でのテストや課題作成について教えてくださればありがたいです。
- ・ FD 開催時期を定例にしてほしい。

(2) 総 括

今回の初習外国語 FD では、2021 年度から実施される教養教育改革プログラムの概要について先ず説明をし、初習外国語の開講コマ数が大幅に削減されること、それに伴って非常勤講師の評価と選別が行われる可能性があることについて説明をした。このことを念頭に、言語教育研究センターとして各授業担当者にお願いしたいこと、評価の対象として捉えている項目情報について伝えた。さらに、アクティブ・ラーニングをともなったさらなる教育改善が必要であること、その教育改善の一つとして教材のデジタル化、共有化が有益であることを伝え、実際に教材作成の実演をiPad、iBook Author を用いて行なった。各参加者からは、iBook Author を用いた教材作成が複雑ではないこと、比較的平易にできることを理解してもらった一方、使用できるコンピューター端末が極端に少ないために各グループに教材作成を実践してもらうというところまではいかなかった。来年度の FD までに端末の問題を少しでも解消し、教材作成の実践にまでつなげ、教材の共有化を推し進めて行きたい。また、iOS 対応の端末を持っていない学生のための教材作成、及び教材利用をどのように確保するかは今後の課題としたい。

(文責:楊暁安)

11. 実施代表者の連絡先

部 局:言語教育研究センター

職 名:言語教育研修センター長 氏 名:西原俊明

e-mail: t-nishi@nagasaki-u.ac.jp 内線: 2095

12. 申請者の連絡先

部 局:言語教育研究センター

職 名:教授 氏 名:楊暁安

e-mail: xiaoan@nagasaki-u.ac.jp 内線:2166